

2011年3月11日、東日本大震災が発生してからちょうど1時間後の15時46分、相馬市原釜地区を襲った大津波の映像が公開されています。地震大国日本に住む私たちは、常にこのような状況と隣り合わせであるということを、震災から3年目の今、改めて心に刻んでおきたいと思います。



7分11秒
第2波が防波堤を越える



撮影開始から0分36秒
防波堤の向こうはまだ平らに見えるが...



2分38秒
防波堤の内側で
海面が渦を
巻いている



3分15秒
第1波が静かに
防波堤を越えた



3分50秒



7分53秒



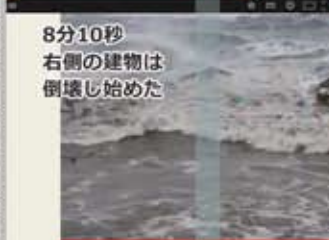
8分00秒



8分03秒



8分07秒



8分10秒
右側の建物は
倒壊し始めた

実は『原釜』というのは、昨年9月に星砂海岸に漂着したカゴに書かれていた、福島県の地名です。

ユツンで見つけた歌津のポストもそうですが、震災漂着物はただ静かに西表に流れ着いたのではなく、このような強い力で故郷からもぎ取られてきたものばかりなのです。

海に囲まれて暮らす私たちが、海からの脅威に対し何が出来るか、前を向いて考え続けることを忘れてはならないと、映像を見ながら強く感じました。

星砂海岸に漂着したカゴ(写真提供:西表島エコツアー)



2013.9.14 星砂海岸



4分50秒
陸に到達した波が
建物の間から
流れ込んでくる



5分23秒



6分46秒



6分58秒
第2波は
波頭が目立つ

海に囲まれて暮らす私たちが最も忘れてはならないこと

we support!
RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』しんぶん
かめぼし

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

MARCH
11
2014

※動画はYouTube『3月11日東日本大震災の津波 相馬市原釜地区 TUNAMI (1)』で観いただけます。

東日本大震災発生から3年が経過しました。被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日もはやい復興と、皆さまのこれからの日々の平穏をお祈りいたします。
平成26年3月11日 西表島エコツーリズム協会